

科目名	メディアコンテンツ応用		英文表記			22年3月19日			
科目コード	5306								
教員名：西村篤 技術職員名：なし					作成				
対象学科／専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間		
メディア情報工学科		5年	選	学修	2単位	講義	前期		
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合					
	(1) メディアコンテンツの社会的応用について理解し、これまでに修得したコンテンツ技術を応用して、作品の企画ができるようになる。 (2) メディアの概念を地域社会にまで拡張し、幅広い視野からメディアコンテンツを考えられるようになる。			(1) 各單元ごとに課すレポートの内容 (40%) (2) 発表時に作成する資料の内容 (20%) (3) 発表と質疑応答の評価 (20%) (4) 期間中の学習についてのレポートの内容 (20%)					
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○	○	○	JABEEプログラム教育目標			A-3	
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要】メディアコンテンツが、特定の媒体に特化したデータではなく、社会の中で果たし得る機能を持った意味の世界であることを身を持って体験しようとする。【授業方針】前半はメディアコンテンツの社会的応用、特に地域とメディアコンテンツとの関連についての事例について「風景デザイン」という視点を導入しつつ講義形式で学習する。後半は、受講生が作品の企画とプレゼンテーションを行う。【履修上の注意】この授業では問題を個人的な問題と結び付け、自ら感じたり考えたりすることが重要であるので、主体的な取り組みを心掛けてもらいたい。								
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はない。教材としてプリントを適宜配布する。								
<b>授 業 計 画</b>									
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目		
1	ガイダンス	2	授業概要・評価方法について説明する。						
2	風景デザイン(1)	2	関連する学説および事例の紹介						
3	風景デザイン(2)	2	関連する学説および事例の紹介						
4	地域社会とメディアコンテ	2	関連する学説および事例の紹介						
5	地域社会とメディアコンテ	2	関連する学説および事例の紹介						
6	事例研究(1)	2	ドキュメンタリー作品の研究						
7	事例研究(2)	2	ドキュメンタリー作品の研究						
8	作品企画についての説明	2	作品の企画と発表の進め方について説明する。						
9	作品企画と発表の準備(1)	2	企画と発表の準備を行う。授業内では主に発表用の						
10	作品企画と発表の準備(2)	2	メディア制作を行い、調査は自学自習の内容とす						
11	作品企画と発表の準備(3)	2	る。						
12	プレゼンテーション(1)	2							
13	プレゼンテーション(2)	2	企画の発表を行う。資料は事前にすべて提出する。						
14	プレゼンテーション(3)	2							
15	総括	2	全体のまとめを行う。						
学習時間合計		30	実時間				25		
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など) 各單元ごとにレポート課題を課す。また発表準備自学自習についてまとめたジャーナルをまとめ、期末レポートとして提出することを課す。									

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)